

大学の世界展開力強化事業
アフリカ諸国との大学間交流形成支援

アフリカの潜在力と 日本の科学技術融合による SDGs貢献人材育成プログラム

Programme for
Developing Human Resource to Contribute to SDGs
by Merging African Potential and Japanese Scientific Technology



地域社会の潜在力や社会構造に基づく持続的発展のあり方を理解し、日本とアフリカの共同事業に貢献できる人材の育成を目指します。

交流プログラムの概要

- ・ 分子農学及びスマート農業に基づく高生産性農業の確立
- ・ 高生産性農業に基づく持続的地域社会の構築

本事業の特徴

高生産性農業の確立

- ・ 分子農学プログラム
- ・ 農芸化学プログラム
- ・ 農業生産環境保全学プログラム

持続的地域社会の構築

- ・ 農業・農村経済学プログラム
- ・ 農業土木学プログラム
- ・ グローバル・エリアスタディーズ・プログラム

地域創生科学研究科での教育・研究

文理融合教育・研究 SDGsの17の国際目標に基づく相補的教育
アフリカ諸国の大学からの留学生と日本人学生が共修します

文理融合の教育研究を特徴とする宇都宮大学大学院地域科学創生研究科における農学及び国際学を母体とした教育プログラムです。アフリカの食糧生産から流通・加工・販売システムまで含めた高生産性農業を中心として、地域社会の潜在力や社会構造に基づく持続的発展のあり方を理解し、日本とアフリカの共同事業に貢献できる人材育成を目指します。そのため、農学だけでなく工学、経営学、地域研究、国際開発学、法学、社会学等、複数の学問領域に精通した高生産性農業の確立に必要な技術と知識を身に付けたグローバルな高度専門職業人を養成することに特徴があります。

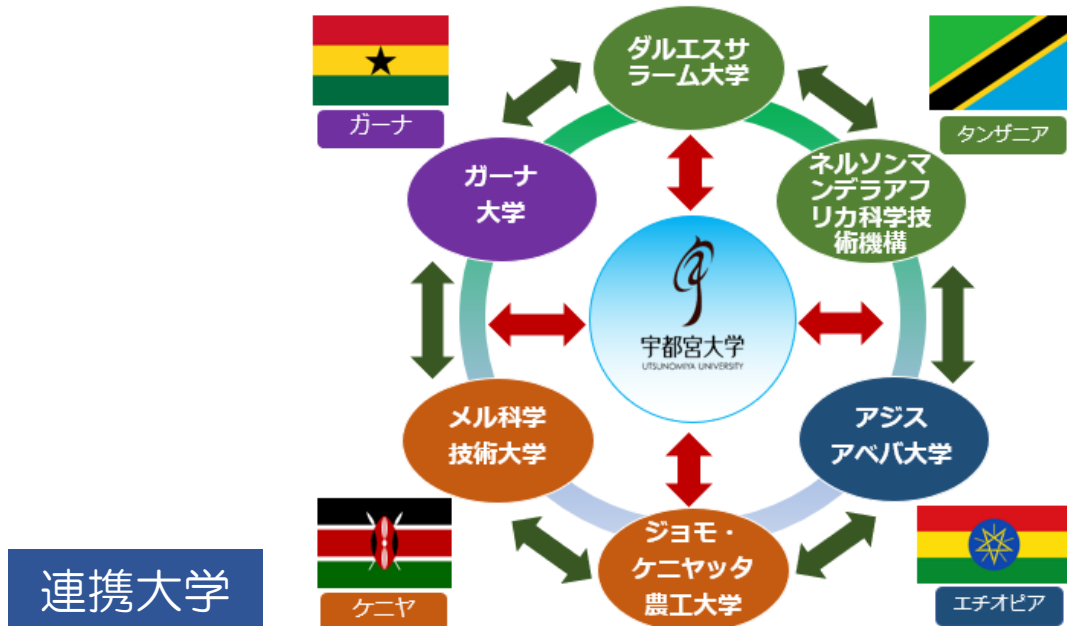
本事業で育成する人材像

SDGsに貢献できる人材育成

17のゴールに対する課題解決型のプロジェクトチームをアフリカからの留学生と日本人学生がチームを作り、関連講義での学びを通して政策立案につなげ、アフリカでの高生産性農業の確立に寄与します。

地域社会への理解促進

地域社会の社会構造を理解し潜在力に着目したアプローチを取ります。その理解に基づき、分子農学及びスマート農業技術を活用して食料生産を飛躍的に向上させる高生産性農業を確立し、これを基に流通・加工・販売システムを構築、地域社会の持続的発展に貢献出来るグローバルな高度専門職業人の育成を行います。



ジョモ・ケニヤッタ農工大学

1981年にJICA（日本国際協力機構）の支援で開校し、現在では大きな総合大学となっている日本の海外支援の成功例です。

Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology



メル科学技術大学

メル科学技術大学は2013年に他大学から独立した新しい大学で、特に農業と食品化学の技術を強みとしています。

Meru University of Science and Technology



アジスアベバ大学

ハイレセラシエ皇帝により開学したエチオピア国で最古、最大の大学で、全土に7つのキャンパスを持ちます。

Addis Ababa University



ダルエスサラーム大学

タンザニア共和国で最大の大学であり、ランキングにおいても1位の大学です。

University of Dar es Salaam



ネルソンマンデラアフリカ科学技術機構

大学院教育と研究に特化した研究大学院です。

Nelson Mandela African Institution of Science and Technology



ガーナ大学

ガーナ共和国で最古かつ最大の大学です。

University of Ghana



お問い合わせ先



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学

留学生・国際交流センター
世界展開力強化事業推進室

TEL: 028 - 649 - 8162

FAX: 028 - 649 - 5117

Email : tenkai@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/>